

こんな本もおすすめ



『ふしぎな図書館と魔王グレイモン ストーリーマスターズ1』  
 廣嶋 玲子 作  
 江口 夏実 絵  
 ニーヒロ  
 (にほんのよみもの) **にヒロ** 2022年3月



『坂の上のパン屋さん』  
 尾崎 美紀 作  
 たかおか ゆみこ 絵  
 ニーオザ  
 (にほんのよみもの) **にオザ** 2021年7月



『どうしてそうなった!? 海の生き物 1 海の色』  
 吉野 雄輔 作  
 K481  
 (しらべもの) **481** 2021年7月



『理系脳をつくる 食べられる実験図鑑』  
 中村 陽子 作  
 宮本 一弘 監修  
 K400  
 (しらべもの) **400** 2021年12月

としょかん ほん  
 ☆★図書館の本のならばかた★☆

コンピュータの表示

- E-ヨミハジメ-△ ...
- E-ヨミモノ-△ ...
- E-チシキ-000 ...
- K000 ...
- ヨ-△△ ...
- ニ-△△ ...
- セ-△△ ...

しどうしつの本だけの表示

- あかちゃんえほん ...
- えほん ...
- しらべものほん (ちいさいこから) ...
- しらべものほん ...
- やさしいよみもの ...
- にほんのよみもの ...
- せかいのよみもの ...

ほんのならばかた

- 出版社のアイウエオ順 ...
- だいちのアイウエオ順 ...
- すうじ順 ...
- すうじ順 ...
- 作者のアイウエオ順 ...
- 作者のアイウエオ順 ...
- 作者のアイウエオ順 ...

しょうがい ほん しどうしつ  
 紹介している本は児童室の特集コーナーにあるよちゅうおう ちゅうしょう みすお (中央・中条・水尾・庄栄・穂積図書館)。  
 もし、本が見つからないときは図書館の人にきいてね!



★「読みたいな」と思った本の予約・問い合わせは、下の図書館までお願いします。

中央図書館	☎072-627-4129	畑田町1番51号
中条図書館	☎072-622-2476	ひがしちゅうじょう 2番13号
水尾図書館	☎072-637-4416	みずおさんらうめ 3番18号
庄栄図書館	☎072-620-1171	しょうじ ちやうめ 2番12号
穂積図書館	☎072-620-1056	まつがも ちやうめ 8番30号

編集・発行：茨木市立図書館

発行日：令和5年(2023年)3月



しょうがく ねんせい  
 《小学4・5・6年生》



1年の間に図書館に入った本を中心に、はばひろくおもしろい本を紹介します。

★ホームページにもっています。気になる本をみつけたら、さっそくさがしてみよう!



茨木市立図書館  
 おすすめ本のページ



K810  
 (しらべもの) **810**  
 (本の背ラベルです。)

2021年11月

『日本のことばずかん そら』

神永 暁 監修 (講談社)

日本に古くから伝わる空の現象を表した言葉が、美しい写真や有名な日本画と一緒に紹介されています。例えば「朝ぼらけ」「東雲」などの日が昇り、沈む時の空の様子を表す言葉や、季節で変わる風の呼び名、色々な形に例えられる雲の名前など、たくさんの表現を知ることができます。さらに迫力のあるビジュアルにより、それぞれの言葉の響きやイメージの広がりを感じることができます。読んだあとに、「そら」を見上げてみたくなる1冊です。

\*本の表紙は出版社の許諾を得て掲載しています。



ニーカナ  
(にほんのよみもの) **に**  
**カナ**

2021年7月

『人魚の夏』

かなり 晴香 作

(あかね書房)

まめふく 絵

小学5年生になる知里のクラスに、海野夏という転校生がやってきました。中性的な顔立ちで、あっという間にクラスの人気者になった夏ですが、実は人魚であるという秘密をかかえています。夏の将来を左右する秘密を知った知里はどうするのでしょうか。

人とちがうところを認め合う難しさと大切さを感じさせてくれます。



ニーオチ  
(にほんのよみもの) **に**  
**オチ**

2021年9月

『天の台所』

落ち 由佳 作

(講談社)

いつも料理をしてくれていたばあちゃんがいなくなり、3人兄弟の中で一番上の天が主に料理の担当になりました。ひよんなことから近所の「がみババ」に料理を教えてもらうことになり、ばあちゃんと言っていた「台所は家の心臓なんだよ」の意味を理解していきます。

家の台所以外でも料理コンテストに出場し、兄弟3人が力を合わせて活躍します。



ニーニツ  
(にほんのよみもの) **に**  
**ニツ**

2022年3月

『もうサイアクだ！—その一言から生まれる物語—』

日本児童文学者協会 編

(偕成社)

スカイ エマ 絵

親に叱られたり、友だちとケンカしたり、何かイヤなことがあるとつい「サイアク！」と言ってしまうませんか？ そんな誰もが口にしてしまう言葉から、6人の作家がお話を考えました。

学校で大流行した呪いのアプリの恐怖、学校行事で出会ったハブニング、小さなウソが招いた思わぬ事態など、色々な「サイアク」が出てきます。



セーマガ  
(せかいのよみもの) **せ**  
**マガ**

2021年9月

『チェスターとガス』

ケイミー・マガヴァン 作

(小峰書店)

西本 かおる 訳

犬のチェスターは、大きな音が苦手な補助犬になれませんが、自閉症の少年ガスのいる家に引き取られました。ガスと一緒に学校へ行くことになり、どうすればガスの手助けができるのか一生懸命考えます。そんなチェスターを、読んでいるうちに自然と応援したくなります。

チェスターとガス、そして周りの人々との関係が変化していく様子に心が温かくなる物語です。



K000  
(しらべもの) **000**

2022年5月

『検索クイズ ヒラメキちゃんとケンサクくん』

眞形 隆之 作

(ポプラ社)

本を探すときや、パソコンやスマホで知りたいことを調べるときに、まずどのことばを使って検索すればいいのか、分からなくて困ることはありませんか。この本では、ヒントに助けてもらいながらクイズを解いていくうちに、調べたいことをどのようなことばでどのように調べればいいのか身に付きます。出されているクイズの内容だけでも、「そんなんだ！」と楽しめます。



K570  
(しらべもの) **570**

2022年2月

『和ろうそくは、つなぐ』

大西 暢夫 作

(アリス館)

和ろうそくから始まるリサイクルの物語です。昔から変わらない材料と作り方で今も作られている和ろうそくも、製造過程でごみ(廃棄物)が出ます。しかし、現在の工業製品と違い、それらは捨てられず、別のもの作りに欠かせない材料として有効活用されます。

要らないものを引き取って活用する流通経路が、昔からあることにも驚かされます。